

F I S S F C M S

ヴェネツィア : F UA-DAL, F VEN-UA,
A TRE-PAD

最初の疫病が発生する。前ターン北上したヴェネツィア軍と、オーストリア軍が吹き飛ばす。ミラノ軍は占領のため散っていたのでマップ北東部は実質空白地帯となり3ヶ国の間に妙な空気が流れる。その他は特に何も無く、各国とも占領行動に忙殺された。

オーストリア

疫病で1軍隊飛んでしまって、今年は駄目になってしまう。ま、そんなもんだらう。

ミラノとの関係は良好。ヴェネツィアは相変わらず金を出すのを渋る。トルコと一応、国境交渉をするが、まあ、後二年ぐらいいは気にしなくていいだらう。

フィレンツェ

LUCの守備軍が疫病で消滅したのを機に、PISへ避暑へ出ていた軍を向かわせる事にした。MODの権利はミラノへ譲るとミラノに提案し、LUCを取る事に。

フランス

飛ぶ可能性が低いとは言え、軍が飛ばなかったことに安心する。

ミラノ

疫病が北上してきたヴェネツィア軍とCARINのオーストリア軍に当たる。これで我が国にかかるはずの圧力が無くなり非常に楽になる。らん氏の言葉を借りれば「寿命が一年確実に伸びた」ということであろうか。が南のほうで教皇領とヴェネツィアが同盟してる感じがするのが気になる。ヴェネツィアは資金を溜め込むつもりなのだろうか？ それだけは避けたいところで

ある。

ナポリ

対トルコ：不毛な泥沼戦争はやめましょー、と嘆願(笑)

対フィレンツェ：TS領有の再確認。以降この繰り返し。

PAL、MESの防衛行動をとるしかなかった。1ターン無駄にした。

教皇領

交渉

ミラノと将来的な仮想同盟国としての友好を確認

結果

順当なのでとくになし

ヴェネツィア

VERの陸軍が疫病で飛ばす。何じゃそりゃ～と思っているとミラノがその陸軍の行動の意図を問いただしてきた。いや、単なる避暑だったんだけど。避暑にいったら飛ばない。

東の中立国家群に関してオーストリア、トルコと話をするものの、明確な結論が出ずに終わった。

1454年秋

行動計画

オーストリア : A TYR H, A CAR H

フィレンツェ : A LUC H, A ARE-FLO,
F PIO B

フランス : A TUR B, A SWI S A TUR B,

策謀渦巻くイタリア半島の勝者は誰だ？

F GOL H

ナポリ：F TS S F PAL S,

F PAL S A OTR-MES, A OTR-MES, F BARI H

教皇領：A FER B, A ROME H, A SIE B, F LA H

トルコ：A RAG B, F CM S IS S,

F IS S F CM S

ヴェネツィア：F DAL S F UA C,

F UA C A PAD-CRO, A PAD-CRO

このターンあたりからヴェネツィア・教皇領の関係を皆、気にし始める。一部のプレイヤーはヴェネツィア・教皇領・トルコが同盟しているのではないかと警戒していたらしい。それを裏付けるようなヴェネツィアの動きの純さが反ヴェネツィア気運を高めていた。

オーストリア

とりあえず、CAR を獲得する。

ヴェネツィアはなんだか簡単に隣接国に国境ぞいの空白地を踏ませている。この調子なら、案外近い内にヴェネツィア総攻撃という方向に進みそうだ。

フィレンツェ

地固めのターン。特記すべき事は無し。

フランス

TUR の占領完了。ここまでは順当っていうか、これ以外はとりようが無いと言う感じ。

オーストリアから全く交渉がなく、ちょっと気が抜ける。

ミラノ

オーストリアと暫定的な同盟を結ぶ。どうもらん氏もヴェネツィアと教皇領の動きが気に入らないようだ。こっちとしては願ったりかなったりである。これに付随し

てTRENT は中立あつかいということになる。ここで、教皇ことかーばんくる氏に探りを入れたところヴェネツィアとは同盟しておらず、協調しているのはフェイクで機をみてヴェネツィアを叩くとのこと。本当だろうか。

このころ気がついたらフィレンツェと仲良くなっていた。フランスに対していい圧力になるだろう。

ナポリ

基本戦略に従ってじっとするのみ。トルコさん、裏切らないでー(笑)

教皇領

交渉

ヴェネツィアと当面の不戦を確認

結果

FER と SIE を占領し、教皇領としては順調ではないだろうか。

トルコ

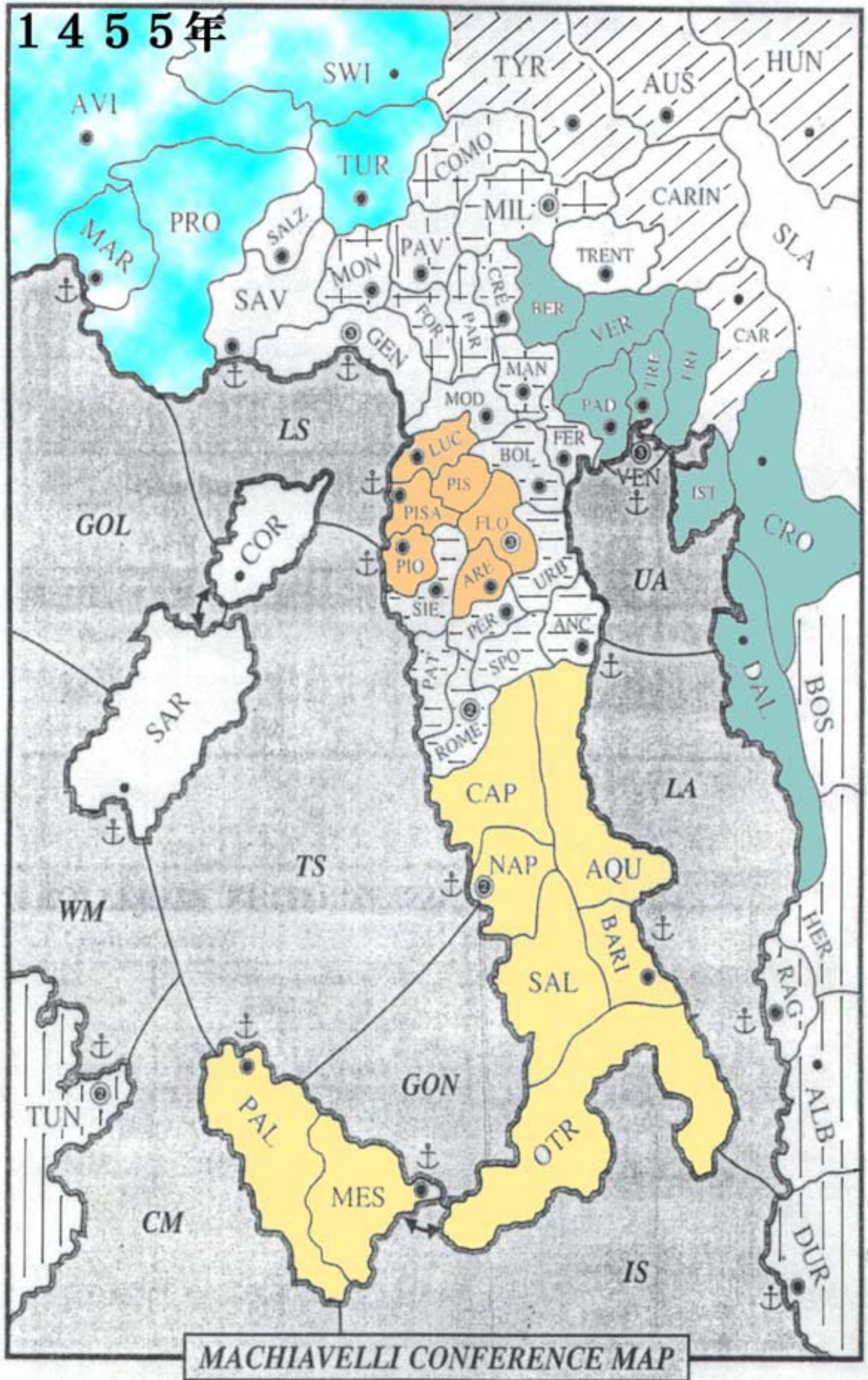
RAG の包囲にめでたく成功。

こちら辺りでオーストリアから「ヴェネツィアと教皇領仲が良すぎ」と牽制するように言ってくる。アドリア海で両国がうまくいっているのが嫌らしい。トルコとしては今のところ何の問題もないので同情的な事を適当に言っておく。

ヴェネツィア

CRO に関しては将来的にトルコが取ることにして、一時的にうちが貰うことになる。

オーストリアから資金融資の打診が来た。詳しい話は来年の生産フェイズとのこと。金は足りないのは確かだろうが……？と少しひっかかったが、対ミラノを考えると、まあいいかと思う。



策謀渦巻くイタリア半島の勝者は誰だ？

1455年春

飢餓：MOD, SWI, VER, BER, URB, FLO, PAR, AQU

軍隊配備

オーストリア 生産：A AUS
フィレンツェ 生産：A ARE, F PISA
フランス 生産：A AVI
ミラノ 生産：A CRE
ナポリ 解散：A MES
生産：F MES, F NAP
教皇領 解散：A FER, A SIE
生産：A BOL, A PER, F ANC
トルコ 生産：F TUN, F DUR
ヴェネツィア 解散：A CRO
生産：A TRE, F VEN

行動計画

オーストリア：A TYR S A AUS-CARIN,
A AUS-CARIN, A CAR S A AUS-CARIN
フィレンツェ：A FLO-PISA, A ARE H,
A LUC H, A LUC H, F PISA-LS,
F PIO S F PISA-LS
フランス：F GOL S Turks F TUN-WM,
A AVI-PRO, A TUR-SAV, A SWI H
ミラノ：A MIL H, A MON H, A CRE H, A MAN H
ナポリ：F MES-OTR, F BARI S F MES-OTR,
F NAP-GON, F TS S F PAL S, F PAL S F TS S
教皇領：A BOL-FER, A ROME-PAT,
A PER S A ROME-PAT, F ANC S F LA S,
F LA S F ANC S
トルコ：F TUN-WM, F DUR-ALB,
A RAG S F DUR-ALB, F CM S F TUN-WM,
F IS S F CM S
ヴェネツィア：A TRE S F VEN-FRI,
F VEN-FRI, F UA S F DAL S, F DAL S F UA S

飢餓消滅：A SWI, G MOD

生産フェイズで大規模な軍事拡大を行った者はいなく皆貯蓄に励んだようだ。

フランスがプロットミスで軍隊を飛ばした事を除けば平和なターンだった。

オーストリア

とりあえず、3軍隊にするためにAUSに陸軍生産。CARINへと展開する。

ヴェネツィアと教皇領が非情に仲良く見えるのがやばい感じ。

フィレンツェ

早々に海軍をLSに移動させ、LSを確保する事にする。これは保身の為だけでなく、今年度中にCORを所有する為の布石でもあった。また、将来GENを取る際にもLSは重要であり、フィレンツェの生命線となる筈。

フランス

「オレのバカー」な季節。

SWIに飢餓が当たる。初期の時点での2dは痛いですがそれ以上にSWIに軍を生産、維持できないのが痛い。

SWIの飢餓を救済するかとも考えたがお金に余裕がなく結局SWIを解散、AVIの軍をSWIに移動と考えていたが、SWIの解散を書き忘れる。これが「オレのバカ1」。

何とか維持をする。こうなったらAVIをPROに、SWIをTURに移動させようと思えるが、今度は何とSWIの移動を書き忘れる。これが「オレのバカ2」。

この失敗は結構痛かった。

ミラノ

MODに飢餓が当たったことが問題になる。フィレンツェ、教皇領と個別に交渉し

たところこたく氏は我が国の好きにして良いそのかわり GEN は認めてもらうよと言いい、かーばんくる氏はフィレンツェだけには取らせるなということなのでありがたく我が国が頂くことにする。

ナポリ

アドリア海に教皇領が進出してきたのには驚いた。ヴェネツィアとの関係も良好そうだったので危機感を感じたがとりあえずは様子を見ることにした。

教皇領

交渉

特になし

結果

ROMEからPATに避暑にでた陸軍が疫病で飛ぶ。

トルコ

教皇様と、ヴェネツィアとナポリのどちらか隙を見せた方に攻め込もうと漠然とした約束をする。ナポリと「SAR は空白って事で」という約束を交わす。前年ナポリとはまったく衝突しなかったが、双方手駒が無い結果そうなたただけと、互いに分かっている。ここら辺りから両国が動くに動けない状態が始まる。西の海にナポリ海軍が年々溜まっていくのは目に見えているので、こちらもTUNを守るべく、フランスに「SARの領有を認めるから、代わりにこのターン F TUN-WM をサポートして」と約束を交わす。

……ま、ナポリとの約束より、こっち優先だ(笑)。

ヴェネツィア

お金を貯めるという基本方針のもと、4軍隊を生産。この時点でのこの判断はどうだったのだろうか？ あと一つか二つ作って

おくべきだったのだろうか。

オーストリアからは融資の先送りを伝えてきた。

1455年夏

疫病：A MON,A PAT,F BARI

行動計画

オーストリア：A CARIN S A CAR S,
A CAR S A CARIN S,A TYR H

フィレンツェ：A PISA-COR,A ARE-FLO,
A LUC H,F LS C A PISA-COR,

F PIO S Naples F TS S

フランス：F GOL S Naples F TS S,
A PRO-TUR,A SAV B

ミラノ：A MIL H,A CRE-BER,A MAN H

ナポリ：F TS S F PAL S,F PAL S F TS S,
F OTR H,F GON S F TS S

教皇領：A FER-BOL,A PER H,
F AMC S F LA S,F LA S F ANC

トルコ：A RAG-HER,F ALB-DUR,
F CM S F IS S,F IS S F CM S,

F WM S F CM S

ヴェネツィア：A TRE H,F FRI-VEN,
F UA S F DAL S,F DAL S F UA S

疫病がBARIに当たりナポリは危機に陥るかに見えたと、教皇領にも疫病が当たり衝突の危機は回避される。北部ではMONのミラノ軍が吹き飛びフランスとの国境ががら空きになっていたがなぜかフランスは攻撃を控えここでも戦争にはならなかった。

ひそかにトルコ陸軍が北上しているのが不気味である。

オーストリア

いろいろ思うところはあるが、やっぱり

策謀渦巻くイタリア半島の勝者は誰だ？

手持ちの軍がさびしいのがつらいところ。結局、相互サポートで安定する。

動くときに、ミラノがどう出るかでかなり先が変わってくるので、というか、ミラノ次第でオーストリアの未来が決定する(断定)。そんなわけで、うかつにこちらから持ち掛けられない。

フィレンツェ

CORへ陸軍を移動させる。ナポリからの要請に応え、PIOの海軍はTSのサポートをする事にする。今後教皇領と事を構えた際にはナポリとの協調が必須な為、今からナポリに協力しておく事にした。ヴェネツィアと教皇領の関係があまりにも順調なのに不安を覚え、借金をしてでも今年度中にGENを陥す事を決意する。

フランス

ナポリからサポート要請が来る。サポートしてくれたら1dというので思わずのってしまう。

ミラノ

疫病でMONが吹っ飛び、同時にフランス軍がTURに移動したのであせる。ほんとはこっちが立場弱いけど「その移動は困る。それがいなきゃ国境にはお互い軍がいなくて平和じゃないか。」などと無茶なことを言うがあっさり受け入れられる。ならばとフランスの目を完全にそらすために次にMARに海軍作ってGENを取りにいけばあと煽ってみる。

本国の安全性を増すためにBERを2dで割譲しないかとヴェネツィアにもちかけてみるとあっさり承諾される。どうやら奴の目は南へ向いているようだ。

ナポリ

BARIふっとび。これにはまいった。

これを機にと、教皇領とトルコが協力されたらたまらんとおもったので、慌てて教皇領と交渉。AQUを秋ターンに踏みにくるという条件で割譲を申し入れたところ、了承してくれた。トルコに対しては、一貫して、泥沼はやめましょー、というごまかし作戦を継続。トルコの気が変わらないことを祈るばかりだ。SARは空白地帯にしようとしてトルコと交渉した。

教皇領

交渉

フィレンツェ、ナポリとの友好を確認。トルコと将来的戦略(対ヴェネツィア、ナポリ)を話し合う

結果

プロットミスで、PERの陸軍がROMEに戻れずちょっと痛い。

トルコ

ナポリのF BARIが疫病で吹っ飛び。おかげで東の海での展開が楽になる。

「N's F TSをサポートしてくれたら1dあげる」とナポリがフランスに持ちかけていることを、フランスさん本人から聞く。秋にフランスのSAR上陸をサポートする事を約束。今の段階で西の海で事を荒立てる意志はまったく無かった。夏の疫病で相手の軍隊が吹っ飛ばないと、どうしても攻めきれないからだ。

ヴェネツィア

ミラノから、BERを2dで譲渡の打診。特に断る理由はなかったので承諾。来年の春に支配が確定してから発表し、代金を貰う事に話がまとまる。

1455年秋

行動計画

オーストリア : A TYR H, A CAR H,
A CARIN-TRENT
フィレンツェ : (G) 12d GEN, A LUC-GEN,
A FLO H, A COR H, F LS C A LUC-GEN,
F PIO S Naples F GON-TS
フランス : F GOL-SAR, A TUR-SALZ, A SAV B
ミラノ : A MIL H, A BER H, A MAN-MOD
ナポリ : F PAL S F OTR-MES, F OTR-MES,
× F TS-SAR, × F GON-TS
教皇領 : A BOL H, A PER-ROME,
F ANC S F LA S, F LA S F ANC S
トルコ : A HER H, F DUR-ALB,
F WM S France F GOL-SAR, F CM S F IS S,
F IS S F CM S
ヴェネツィア : A TRE H, F VEN H,
F UA S F DAL S, F DAL S F UA S

突然、フィレンツェがGEN守備軍に解散を掛け占領してしまう。が周辺国家は表立って非難するでもなく意外に冷静に受け止められていた。また併せてフィレンツェは一年間の不戦を発表した。

オーストリア

かなり事情が変わった。ミラノが前のターンにBERを踏んだのである。ここは一発、両方に脅しをかけた方がよかろうと思い、TRENTに軍を進める。

とはいえ、ここでTRENTの自治軍を包囲殲滅するつもりはない。つぶしてしまうと維持が大変になるからだ。元々確実に取れるものでもないのなら無駄に時間を潰す方が損なのだ。

フィレンツェ

フランスのSAR領有を認める。CORはGEN攻略の資金の足しにするだけで、長期的に

占有する気も無かったため、SARに関して未練は無かった。借金をしてGENを攻略。とりあえず1年間戦争はしないと宣言してみる。いや、もちろん嘘だけど。

フランス

SAVが増える。

再びナポリからサポート要請が来る。が、SARが欲しいので曖昧に答える。同時にトルコと交渉し、SARの領有権を認めてもらう。フィレンツェにも認めてもらえて一安心。

ミラノ

今年の行動でBER、MODを一気に手に入れたので目立ちそうになりあせったが、フィレンツェがいきなりGENに解散をかけて占領したため他国の関心がそれて助かった。と思ったらTRENTをオーストリアに踏まれているのは何故だ？ さっぱりわからない。我が国に攻め込む布石だろうか？ 真剣に悩む。

ナポリ

前ターン、トルコ、教皇領が穏和な動きをしてくれたが、未だ不安が続く。

SARを踏みにいったのは、トルコ軍とのスタンドオフを狙ったもの。このぐらいなら怒らないだろうとふんだので。

教皇領

交渉

フィレンツェ、ナポリとの友好を確認に念を押す

結果

なんとか守り切った。でもフィレンツェがGENをとる。フランスの役たたず……資金的援助とかならしたのに。フィレンツェの1年間の不戦宣言。

策謀渦巻くイタリア半島の勝者は誰だ？

